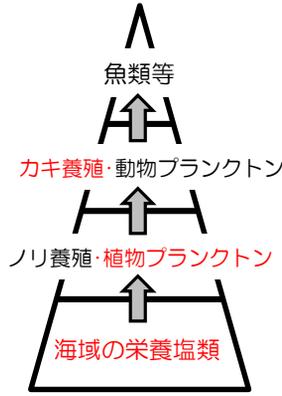


栄養塩環境とカキの成育との関係

【目的】

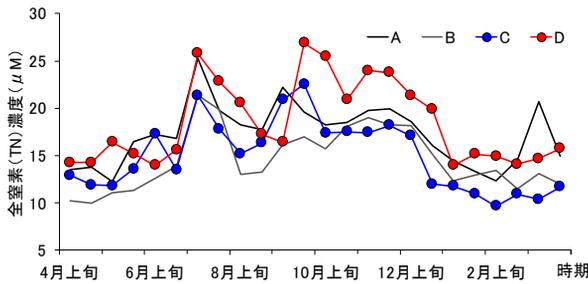
成育環境が異なるカキ養殖漁場で、栄養塩、植物プランクトン量等の水質を調査した。近年、瀬戸内海で制限要因となっている窒素に着目した解析を行うことで、栄養塩環境とカキ(マガキ)の成育との関係解明を試みた。



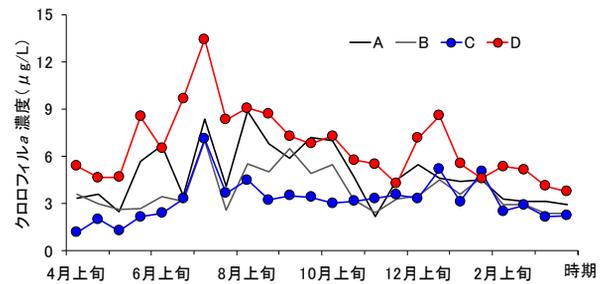
【方法・結果】

・2015～19年度に、県下カキ養殖漁場（4箇所）で調査

全窒素の推移

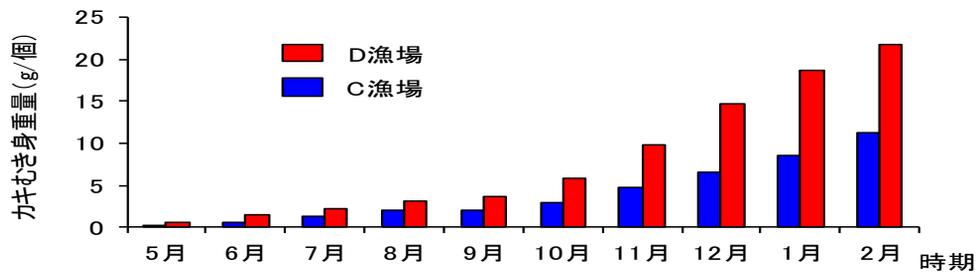


植物プランクトンの推移

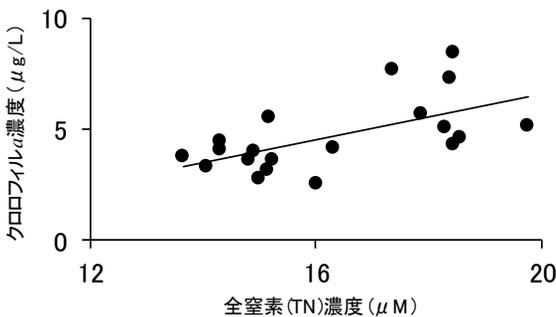


漁場間に違い有り (D: 高い, C: 低い)

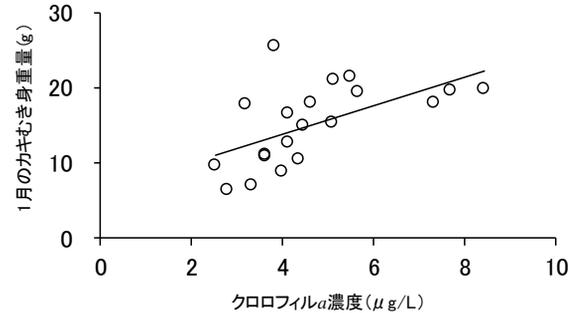
カキの成育状況



カキの成育はDが良く、Cが悪い



全窒素濃度が高いほど植物プランクトン量が多い



植物プランクトン量が多いほどカキの成育も良い

【まとめ・今後に向けて】

- ・栄養塩（窒素）の増加は、植物プランクトン量の増加とカキの成育を促進することが示唆された。
- ・瀬戸内海を豊かな海に戻すとする瀬戸法の趣旨に基づき、さらなる効果の発現に向けて成果を活用する。